

本庁地区社会福祉協議会



第8回写真コンクール大賞 うららかな昼下がり 花子さん (本庁地区勤務)

創意工夫でコロナと向きあう！
本庁地区社会福祉協議会会長 伊能重憲

令和二年度はコロナ感染に始まり深刻な状況下で終わろうとしている。ペーパードキュメント二五〇年の今年、マスク姿の演奏者の映像をよく目にした。各種場面で生活様式は大きく変化した。

従来の築き上げた諸活動が困難になっている。本庁地区社協も同様に、「顔を合わせ、声を掛け合って行動開始」の原点が消失した。「ますますこもってしまふ。皆はどうしているだろう、今こそ活動が必要だ」と役員の気持が逸る一年でもあった。今回の「ほんちゅう」は仲間たちの情報も多く、気持ちの交流に効果大であろう。閉じ籠りは運動不足を招き、体力や免疫力低下などの健康二次被害の元とも言われる。また会話の減少はストレスや不安を増大し認知機能にも影響すると言う。正しくコロナに向き合い、運動、食事そして社会参加に創意工夫で向きあいましょ。

《今号の内容》

- 特集 社会福祉協議会の地域福祉活動：6～7頁
- 我が町交流ひろば：2～3頁
- 本庁地区 町会・自治会区分マップ：4～5頁
- 写真コンクール入賞作品&投稿川柳：8頁

散歩中のひとコマ



そのあと印旛沼まで足をのびし、秋の陽ざしを浴びながら、ゆったりした空気を味わうことができました。

三丁目東 平井典子

和が町 交流ひろば

ふるさと広場(佐倉市)から印旛沼まで...

新型コロナウイルスの騒動のさなか「外出自粛中ですが...!!。私は、保育士のクラス会の幹事会出席のため千葉市に行きました。毎年開催しているクラス会ですが、今年は中止にしました。

幹事会を終えて、二台の車で、佐倉市のオランダ風車のある「ふるさと広場」に立ち寄りしました。この写真はその景色です。今年は花畑も縮小さ



れ、近隣の小学校のボランティア活動「クラス単位の菜園」も空地になっていました。そんな時、道端に早咲きのキバナコスモスを見つけ、思わずスマホで撮影をしてしまいました。

広場には、介護人に付き添われたマスキ姿の杖をつく散歩中の老人達や、ベビーカーを押す若夫婦の姿も...。覗いてみると、中から顔を出したのはなんと二匹の愛犬で、一同驚くも思わず笑ってしまいました。

そのあと印旛沼まで足をのびし、秋の陽ざしを浴びながら、ゆったりした空気を味わうことができました。

三丁目東 平井典子

Bangladeshから日本へ 松戸に移って13年

Q 松戸にはいつごろ越してきましたか?
A 二〇〇七年七月ごろです。
Q 松戸にきてなにか困ったことはありますか?
A とくにありません。
Q パパ・ママにお尋ねします。故郷・ Bangladesh にいるときに想像していた日本と、いま暮らしている日本との違いに悩むことはありますか?
A そのほかどんなことでも思ったことをお聞かせください。
Q 全然ちがいました。故郷で考えていた日本と、実際の日本は全然ちがいました。日本人はと

ても努力家です。ここで暮らすには努力しないといけないと思いました。 Bangladesh では、日本の事も含め、ただただ勉強をしていました。でも、日本に来て本当の日本社会を知りました。はじめて日本に来たとき、一年間ずっと日本のことが大嫌いでした。なぜなら日本語がよくわからないので、すぐからかわれていました。 Bangladesh に帰りたいと何度も思いました。でも、そこからゆっくり、日本のことが好きになりました。日本はとてもいい国だと思います。あと、ここに引越してきてからは、もっと日本のことが好きになりました。なぜなら近所の方々がとてもやさしいので、本当に嬉しいです。



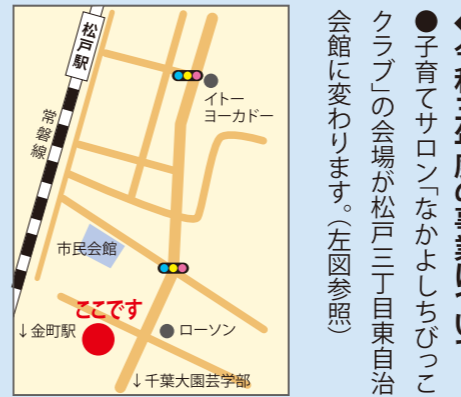
※ジャキルさんは、都内でお仕事。妻のシトルさんは主婦。長女のメヘルさんは都内のインターナショナルジュニアハイスクール 1 年生。ズナイラさんは小学校 1 年生、市内の公立小学校に通学しています。

ガラクタ回帰

わたしは、毎朝、四時少し前に起床し、明るくなるのを待って、近所を自転車散歩するのを楽しみにしている。早春のある日、いつものように自転車を走らせていると、私同様自転車散歩の方の自転車が妙な音をたてはじめた。「ガラクタターン」ガラクターン!と聴こえてきた。その音からすると、自転車は相当の年代物のようだ。その自転車の横に並んだとき、わたしの口は思わず言わなくてもいいことを彼に発したのだった。

注目 大事なお知らせ

本庁地区社協事務局より
事務局だより二月号は、発行中止となりました。
◆令和三年度の事業について



●ふれあいサロン「だんらん」の会場が松戸市民劇場(松戸駅西口)に変わります。
●第16回ウオーキングフェスタは、今春に実施予定でしたが中止とします。延期などについては、決まり次第お知らせします。
●お問合せは事務局まで ☎368-0547
●ふれあい会食会、研修部会についても事務局まで。
※今後の状況により変更もありません。市社協HPや当地区社協へ電話でご確認ください。松戸市社会福祉協議会HP、地区社会福祉協議会本庁地区社協欄をご覧ください。

パン作り粉闘中!



も美味しいです。

さて、私は助手係。容器にバターをぬったり、シートを作ったり、出来上がったケーキなどの味見役です。そのせいか、だんだん膨れ上がる私の体ウフフフ...それでも私はジャム作りに精をだしましょう。

この頃のこと

昨年三月、生まれて初めて身体にメスが入ることになった。担当医は、脳の難しい箇所にある腫瘍の除去手術なので、さまざまな後遺症が予想されると説明された。

視力が失われる。歩行に支障が出る。言葉が不自由になるなどの可能性があるとのことであった。手術は午前九時に始まり、終了したのは翌日の午前零時過ぎだったそうだ。十五時間におよぶ大手術となったのであった。幸いなことに、今では手術前の日常生活と同様の生活を維持することができている。

難しい手術を担当された先生方や医療スタッフに深い感謝の意を表したい。社会の第一線を退いた老人に対し、医師の粹を惜しみなく発揮し仁慈を尽くしていただいたことに、深い深い、真心からの敬意を表し最敬礼を捧げます。

名和隼男 (納屋川岸)

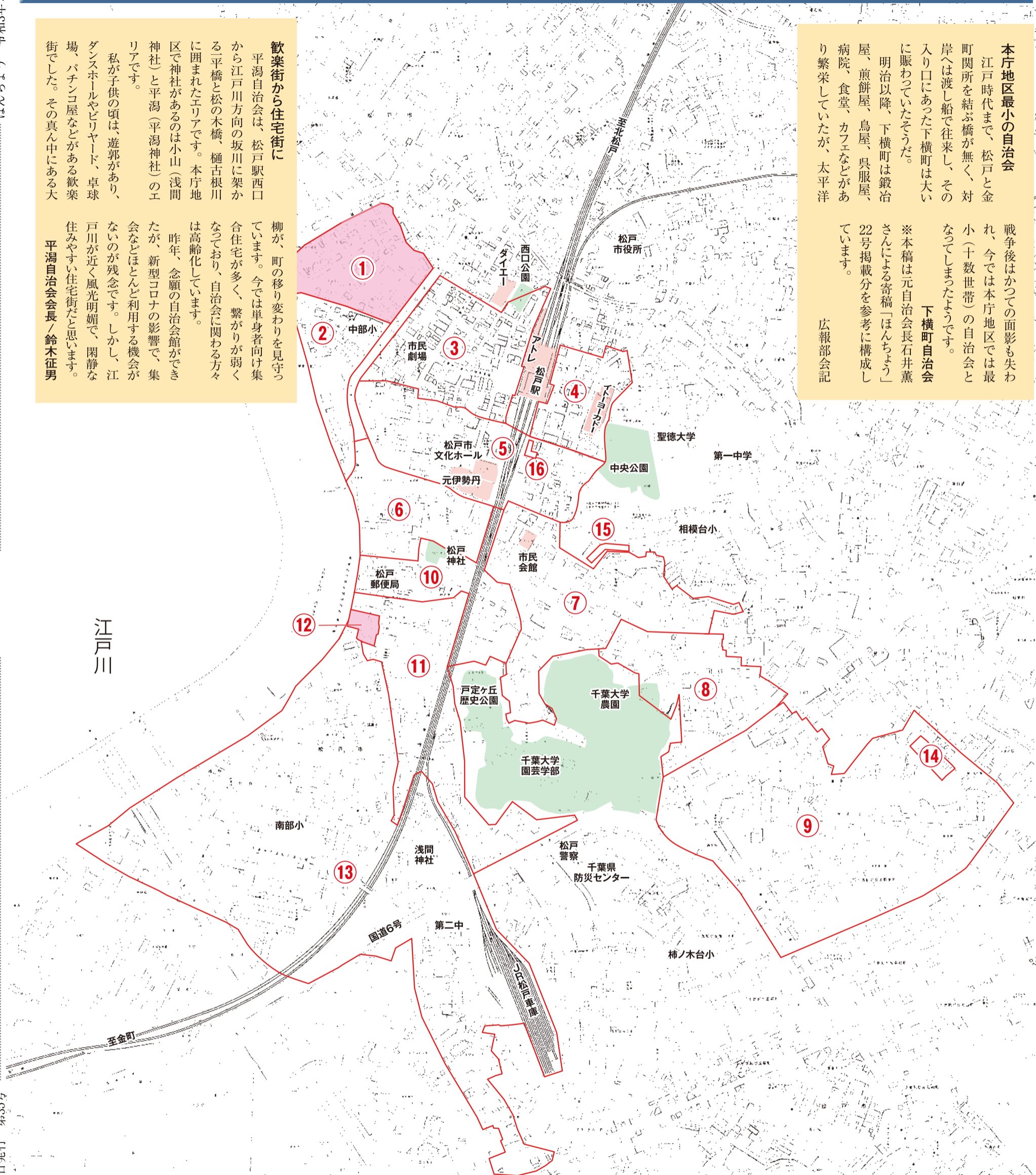
本庁地区社協管内町会・自治会区分図

歓楽街から住宅街に
平潟自治会は、松戸駅西口から江戸川方向の坂川に架かる平橋と松の木橋、樋古根川に囲まれたエリアです。本庁地区で神社があるのは小山(浅間神社)と平潟(平潟神社)のエリアです。
私が子供の頃は、遊郭があり、ダンスホールやビリヤード、卓球場、パチンコ屋などがある歓楽街でした。その真ん中にある大

柳が、町の移り変わりを見守っています。今では単身者向け集合住宅が多く、繋がりが弱くなっており、自治会に関わる方々は高齢化しています。
昨年、念願の自治会館ができたが、新型コロナの影響で、集会などほとんど利用する機会がないのが残念です。しかし、江戸川が近く風光明媚で、閑静な住みやすい住宅街だと思います。
平潟自治会会長/鈴木征男

本庁地区最小の自治会
江戸時代まで、松戸と金町関所を結ぶ橋が無く、対岸へは渡し船で往来し、その入り口にあった下横町は大いに賑わっていたそうだ。
明治以降、下横町は鍛冶屋、煎餅屋、鳥屋、呉服屋、病院、食堂、カフェなどがあり繁栄していたが、太平洋

戦争後はかつての面影も失われ、今では本庁地区では最小(十数世帯)の自治会となっていました。
下横町自治会
※本稿は元自治会長石井薫さんによる寄稿「ほんちよう」22号掲載分を参考に構成しています。
広報部会記



- ①平潟自治会
- ⑦松戸三丁目東自治会
- ⑬小山町会
- ②納屋川岸町会
- ⑧松戸山下自治会
- ⑭リンデンハイム自治会
- ③本町自治会
- ⑨陣ヶ前自治会
- ⑮松戸ハイム管理組合
- ④松戸一丁目向山下自治会
- ⑩宮前町自治会
- ⑯コスモ松戸ステーションビュー自治会
- ⑤松戸二丁目自治会
- ⑪角町自治会
- ⑥松戸三丁目西自治会
- ⑫下横町自治会

※この地図は、今後全自治会・町会の紹介が終わるまで連載します。白ヌキ数字は紹介済み

社会福祉協議会の地域福祉活動

※本掲載内容は令和3年2月末現在のものです。

生活相談課

日常生活自立支援事業

判断能力が十分でないために、適切なサービスの提供を受けられない人に対して、日常的な福祉サービスの利用援助や金銭管理などのお手伝いをします。

【☎ 368-0349】



- 福祉サービスの利用援助
- 支払いの代行や預金の払戻しの支援
- 書類や印鑑・証書などの預かり

松戸市自立相談支援センター事業

所在地 松戸市根本387-5 松戸市役所内

【☎ 366-0077 FAX 366-0550】

経済的に困窮するおそれのある人の総合相談窓口です。どのようなことでも結構です。まずはご相談ください。※生活困窮者自立支援法に基づき実施しています。



相談事業（福祉なんでも相談）【☎ 368-1333】

日常生活上の心配ごとのある人に、相談員が助言と援助を行います。秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。



- 電話相談 (毎週水曜日および第1・4金曜日) ☎ 368-1333
- 市社協相談コーナー (毎週水曜日および第1・4金曜日)
- 六実支所 (毎月第1火曜日)
- 小金原市民センター (毎月第1木曜日) [開所時間] 10:00~15:00

生活福祉資金等貸付事業

【☎ 368-0912】



比較的所得が少ない世帯、障がい者世帯、高齢者世帯または失業者に対し、資金の貸し付けと相談支援を行い、経済的自立や生活意欲の向上、社会参加の促進をはかり、安心した生活を送れるよう支援しています。

〔借入資金の用途〕

- ・修学するための経費や高等学校・大学等への入学に際し必要な経費
- ・住居の移転に必要な経費
- ・初回の給料の支給日までのつなぎなど

無料職業紹介事業

〔松戸市役所内〕

- ・65歳以上 ☎ 365-4712
- ・65歳未満 ☎ 366-0077

無料で就労のあっせんを行っています。

法外援助事業 【☎ 368-0912】

緊急に支援を必要とする世帯に対し、相談支援、金銭の給付を行います。なお、状況に応じ、寄付でいただいた食品もお渡しします。

〔フードバンクへの協力〕

家庭や職場で使わない食品を集めて、福祉施設や団体、生活に困窮されている方に無償で提供しています。



その他の事業

- 松戸市福祉大会の開催
- 地域福祉セミナーの開催
- 障がいのある人とのスポーツ交流事業「ハートフル運動会」の開催
- 災害ボランティアセンターの体制整備
- 広報紙「まつど社協だより」の発行
- 歳末たすけあい募金配分事業
- 収益事業（北山会館内斎場売店、寄付つき自動販売機の設置）

●松戸市社会福祉協議会 HP より

地域福祉推進課 【☎ 710-2341 FAX 368-0203】



○地区社会福祉協議会への支援

「自分たちの福祉課題は、まず自分たち自身で取り組もう」と、住みよい福祉のまちづくりを推進するため様々な地域福祉活動を行っている市内15の地区社会福祉協議会を支援しています。

○地区社会福祉協議会の活動

ふれあい・いきいきサロン、孤独死予防・見守り活動、ふれあい会食会、結婚50年祝賀事業、ボランティアの育成・支援、子育てサロン、こどもまつり、ちびっこフェスティバル、グラウンドゴルフ大会、ふれあい広場、研修会、広報紙の発行など

○車椅子や福祉カー、高齢者疑似体験用具等の貸出 ○小・中・高等学校での福祉教育の推進

ボランティア推進課 【☎ 362-5963 FAX 368-0536】 介護支援ボランティア事業

ボランティアセンター事業

ボランティア活動の総合相談窓口です。ボランティア活動者を育成して、困りごとの解決を図ります。



65歳以上の人を対象に、高齢者施設・障がい者施設・放課後児童クラブなどの福祉施設でのボランティア活動を支援し、高齢者の社会参加や介護予防を推進しています。

※ボランティア活動を行うとポイントがたまり、交付金や障がい者施設の生產品と交換できます。

社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」として位置づけられ、全国の市区町村に設置されている民間の福祉団体です。

行政をはじめ関係機関や団体、教育機関、福祉施設、事業所などと連携し、地域の皆様と一緒に、誰もが安心して暮らしていくことができるまちづくりをめざし、様々な地域福祉活動を展開しています。

オレンジ協力員推進事業 【☎ 362-5963】

認知症の人を支援するオレンジ協力員と、地域包括支援センターや認知症の人の受入施設などのコーディネート業務を行っています。

※介護支援ボランティア事業と同様に、ポイント制で交付金や障がい者施設の生產品と交換できます。



訪問型生活支援・困りごとサービス事業 【☎ 712-0311】



介護保険の要支援認定などを受けた人を対象に、住み慣れた地域で安心して自立した暮らしを続けられるように、ケアプランに基づく生活支援サービスを提供しています。

- 生活支援サービス(掃除、ゴミ出し、洗濯、買物、調理など)
- 困りごとサービス(雑草取り、話し相手、外出介助など)



ふれあいサービス事業 【☎ 368-2941 FAX 368-2977】

高齢者やその家族、障害を持っている人への在宅生活支援を行っています。

- 家事援助(掃除、買物、調理など)
- 介護援助(外出・散歩介助、見守りなど)
- 24時間あんしん電話サービス
- 在宅介護に関する相談



養育支援訪問事業 【☎ 710-6686】

子育ての悩みを抱える保護者への訪問支援を行っています。

まつどファミリー・サポート・センター事業

所在地 松戸市本町14-10 松戸市女性センターゆうまつど内

【☎ 330-2941 FAX 360-0581】

育児の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、育児について助けあいを行う会員制の有償のサービスです。

児童扶養手当を受給している方は、助成を受けることができます。

〔育児支援〕

- お預かり支援
保育施設開始前後や放課後児童クラブ終了後、保護者の病気や急用時のお預かり
- 保育施設などへの送迎支援



〔出生直後支援〕

- 新生児および乳幼児の育児支援
- 家事援助
・掃除
・洗濯
・買い物など

投稿コーナー
川 柳

新しい時代を写す風景画
人生に普通はないと知る日常

服部迪夫(小山)

孫の早口理解しないがニッコリと
脳トレになるかも川柳四苦八苦

ペンネーム：傘寿乙女(納屋川岸)

第8回本庁地区社協
写真コンクール入賞作品

特別賞

松戸神社神輿と戸定邸庭園

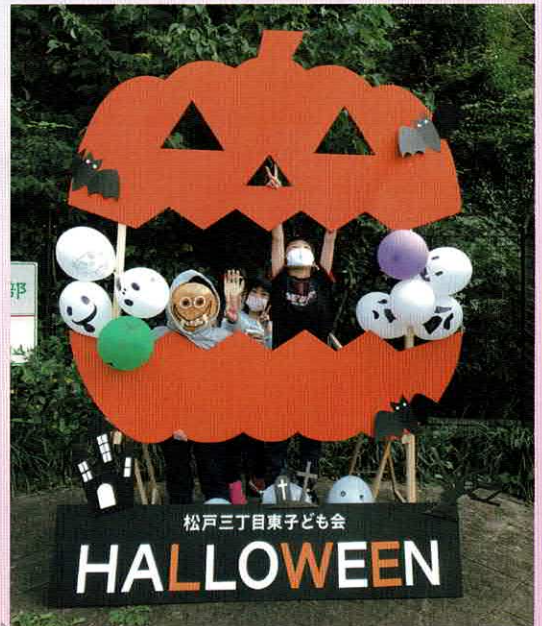
庄司 禎(松戸山下)



広報部会長賞 あかの花園 遠藤憲樹(小山)

佳作

- | | | | |
|--------|----------|-------|------------|
| 黄花コスモス | 染井隆重(小山) | パパと散歩 | 遠藤憲樹(小山) |
| 彼岸花 | 矢部吉成(小山) | 忘れ物 | 久和正寿(松戸山下) |



地区社協会会長賞 ハッピーハロウィンもDIYで
青木恵美子(松戸三丁目東)

入賞作品は、事務局前に掲示しています。

編集後記

新型コロナウイルスのせいでいつもとは異なる紙面となったことご理解願いたい▼「不要不急」という四字熟語が世の中を駆け巡り、人々の暮らしを委縮させ一変させてしまった▼社協の活動は制約を受け、各地区社協の独自活動もほとんどが休止や中止となった▼不幸にもコロナに感染・発症し亡くなられた方、お悔やみを申し上げます。今この時も懸命に働いておられる医療従事者の皆さんには心から敬意を表し感謝を申し上げます▼コロナ禍で仕事を失った多くの方々。夢や希望を奪われた若人たちなど。一大事に襲われている▼なのに「まず自助、共助、最後に公助」を謳う方々がいる。自助共助は多くの国民は普段からやっている。公助がおざなりならば「経世済民」も無く政治は「何もしない宣言」するに等しい▼さあ、「不要不急」の存在？我ら年寄りにはステイホームでしぶとく生き残ろう。

広報部会

- 堀尾 眞誠 石井 榮子
中山 廣子 村上 有一
小関 昭子